

(新連載、ちょっと待てシリーズ 第2) ちょっと待て!! 日本人だから、教えられると思っている?

1. 指導者だから、どうする? 「指導方法」を考えてみよう!

1. 「はい、分かりました。」とか、「大丈夫です。」とか返事をしたけれど、実際の行動が間違っている。
【なぜ、このような間違った行動】を、受験者がおこすのかを今回は考えてみよう!!

- 第一に、考えられることは、職員が指導をする際の発話方法が【日本人感覚の発話】に起因していることが多い。(右表参照)
- 第二に、受験者が日本語を聴解できない能力にも原因がある。
- 第三に、職員の指示には何でも「はい、分かりました。」とか、「大丈夫です。」と言って、当面の対応を済ましてしまう「外国人特有の癖」があり、対応する職員がその返事を信用してしまう。
- ※ その結果、ミスをおこしても、「外国人だから仕方がない」などの気持ちを持って対応する。職員が受験者のそのミスを補うために、いつまで経っても、言語能力として成長しない環境が、一番大きな悪い原因となっているので、これを改善すべきだ。
- ※ 業務の指示をした場合には、再度、指示の内容を復唱させるか、「要点確認」をしない限り、同じミスを繰り返すことになる。そのためには、必ず、指導後に質問を受ける機会を与えることが重要で、業務内容の理解力を常に養う指導が大切だ。
- 「基礎言語能力がない受験者」は、「質問すらできない者」が多く、そのために、業務上での失敗や過失が起きる原因となる。
- ※ これを改善するには、最低の基礎言語能力である【質問の仕方】を教えない限り、受験者自身もどうしたら良いのかが分からない。

【日本人感覚の発話】

- 母国文化の中で成長した場合には、「自然と習得する同価値観」が共有され、「暗黙の理解」が得られる言語環境がある。
- 外国人は、この「暗黙の理解」は理解できない領域で、何のことも、その意味が分からない。
- ※ 例えば、「業務をさっさとしなさい」とか、「だらだらしないで、ぴしっとしなさい」等は、外国人にとって、理解できないと同時に、日本人でもその意味を逆に質問された場合には、明確に答えられない言葉が多くある。

2. 「何を言っているのか、よく分からない。」ので、職員が推測して必要なことを言わなくてははいけない!

- 受験者が業務上で話す時には、長い話になると意味が分からなくなる。そのため、職員が間違った返答や、指示をしてしまうこともある。業務を正しく行わせるためには、「単語だけの会話」をやめさせることが絶対に必要だ。
- 【意思伝達の言葉】ではなく、「言葉の投げかけ」で終わる会話だけで、「うちの受験者は、日本語がある程度できる」という、間違った判断をしている職場が、非常に多いのが現状だ。
- ※ 職場での意思伝達の重要性は、安全性を考える上で、「正しく意思伝達できる受験者を育成」しない限り、事故の発生原因となる。だからこそ、「単語だけの会話」は、絶対に行ってははいけないし、また、受験者の言語能力を養える環境づくりができなくなる。
- ※ もし、受験者が意味不明の日本語を投げかけてきたら、【語順や規則性】を職員が大きな声で、ゆっくりと教えることが大切だ。そして、その場で「正しい日本語を反復」させる指導が重要だ。この方法こそが、受験者にとって「理解しやすく有効な方法」なので、是非、【現場で体得】させてみると良いだろう。

<職員の声>

「はい」と返事があっても、やっていることが違うので、分かっていないのだと気づき、最近では、受験者の返事には疑ってかかっている。

<神奈川県・K施設>

<職員の声>

業務中は忙しいので、間違った日本語だと思って、いちいち直すのが面倒なので、そういうものだと対応している。

<東京都・S施設>

3. 会議のメモが取れないし、業務日誌も正確に書けない受験者には、どうしたら良いだろうか。

- 全国の受け入れ機関から寄せられている声の中で、最も多い声は、受験者に「構文力」がないことだ。特に、「構文力」がないと実際の業務に支障が生じることが多いために、「やはり、外国人は使えない」等という声が多く出ているのが現状だ。
- ※ 国家試験に合格した者で、最大の欠点は【構文能力】が身につけていないので、「構文力」を養うには、基礎教育からやり直すしかない。

<職員の声>

合格した者にはいるが、日誌を書かせても意味がよく理解できない。職員が書き直すため、二度手間だ。

<大阪府・M病院>

最も望ましい方法は、入職時から「構文力」がつく教育を行うことだ。

指導者必読

II. あなたは、【日本語の規則性と用法】には、 どんなものがあるか、知っていますか？

第22回 介護福祉士国家試験問題より (規則性) (表1)

問題 67 「我が国の人口とその将来推計」に関する記述のうち、
正しいものを一つ選びなさい。

1. 全人口は、今後 40 年減少し続ける。
2. 14 歳以下の年少人口は、今後 20 年以内に増加に転じる。
3. 15～64 歳の生産年齢人口は、今後減少しない。
4. 65 歳以上の老年人口は、今後 10 年間は全人口の 15% 未満である。
5. 65 歳以上の老年人口が全人口に占める割合は、2025 年 (平成 37) にピークを迎える。

【表1の解説】 「専門知識がなくても、実は、解ける方法がある?！」

1. 日本語の「規則性」とは、文節単位で文の骨格をつくるもの。
表1の五つの選択文を分類すると、「口口は口口する。」の骨格のある文と、「口口は口口である。」の骨格文とに分けることができる。
2. 「口口する。」で終わる文は、普通動詞文で「口口である。」の文は断定する文「口口です・だ」と同じ文意を表す名詞文、並びに形容詞文、そして、副詞文とに用いられる「規則性」がある。
3. 選択文は、「人口減少推移」を表す文だと理解できれば、まず第一に、断定文はないと考える必要がある。なぜならば、将来の人口推移に対して断定できないからだ。よって、「4 口口である」は不正解となる。
4. 選択文の文末の動詞を見ると、「1 減少し続ける」「2 増加に転じる」「3 減少しない」のうち、「2 転じる」と「3 減少しない」は、「人口減少に関する将来推計」の目的から外れる事となるために除外できる。よって「1 減少し続ける」は、人口の減少推移を表すので正解となる。
5. 「5 ピークを迎える」は、「将来推計」に対する専門知識が必要となる文で、他の選択文とは異なる文だ。よって、正解と理解する可能性が高い選択文だが、ピーク時の時期が正しくはないために不正解だ。

※ 試験対策学習指導で、このような視点から考えたことはありますか？

III. あなたは、助詞の規則性を知っていますか？

101回 看護師国家試験 午前問題 108 提示文の一部

【原文】 Aさん(16歳、女子)は、両親と弟と4人で暮らしている。
中学生の頃からモデルにあこがれてダイエットを始めた。
高校に入ってから、太ることへの恐怖から食べた後に吐いたり、緩下薬を服用することも多くなった。

【変更文】 Aさん(16歳、女子)が、両親と弟の4人で暮らしている。
中学生の頃からモデルへあこがれてダイエットを始めた。

(表3) 高校に入ってから、太ることへの恐怖から食べた後で吐いたり、緩下薬も服用することが多くなった。

【表3の解説】 「なぜ、変更文がダメで、原文が正しいのか？」

1. 表3の「原文」と「変更文」とを比較して読んでみれば、【助詞の規則性】に従わずに助詞を使った場合、「文意」と「文脈」とが不統一となり、その結果、「何を言いたいのか」が分からなくなってしまうことが、比較することによって明確に分かる。
2. 他の言語に比べて日本語は、助詞が多いために、助詞に対する受験者の理解が不可欠となる。これが、日本語の特徴だ。
3. 「国家試験受験能力」を養うためには、【助詞の意義と、規則性】を正しく教育指導することが、最も重要な教育内容となる。

※ この教育ができなければ、指導者としての資質はない。

＜受験者の質問の声＞(表2)
「これは申椅子でしょ。」と、
「これは申椅子でしょう。」
と、「これは申椅子ですよ。」は、どう違いますか？
＜山梨県・M施設＞

【受験者の質問の声の解答】

【表2の解説・用法】

1. 3文とも「口口は口口です」の名詞文の文型だ。
2. 「でしょ」は、断定「です」の語尾を上げて発話することで、促したり、確認したりする意味を含む。
3. 「でしょう」は、推量・推測の意味を表す。
4. 「ですよ」は、断定して再確認する場合の意味を表す。

※ 言語には、大きく二つに分けることができる。
一つは、【音声言語】で、会話などに用いられる。

もう一つは、【文字言語】で、文字を使って「意思を表現」したり、「事実関係」を述べたりする時に用いられる。

※ 受験者の質問は、【音声言語】での質問であるために、使われたその場面や、相手との人間関係等によって用いられ方が異なってくる。

※ 「用法」を正しく指導するには、【「規則性」と「用法」】を理解した上で、指導しなければ、受験者は混乱する。

＜受験者の質問の声＞(表4)

「患者さんは、熱を出した」と「患者者さんは、熱が出た」は、同じですか。
職員の人は同じだと言いますが、本当に同じ意味の文ですか。
「を」と「が」は、何が違うんですか？
正しく教えて下さい。
＜鹿児島県・K病院＞

【受験者の質問の声の解答】(表4の解説)

1. 「熱が出た」は、患者自身が発熱を自覚して、発する言葉だ。(主体・自動詞)
2. 「熱を出した」は、看護師が患者を客観的に診て発熱を確認した後に、発する言葉だ。(客体・他動詞)
3. 受験者のこの質問は、動詞の中に自動詞と他動詞の区分があることを理解しておらず、混乱しているから、疑問に思ったのだ。
4. 自動詞の前に来る助詞は、「が・は・も」等。他動詞の前に来る助詞は「を・も」等。

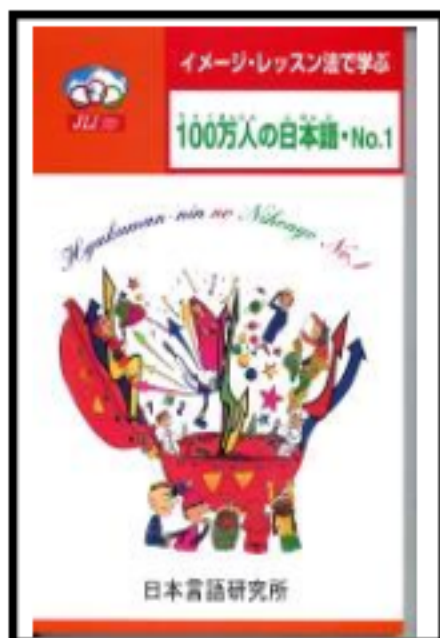
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

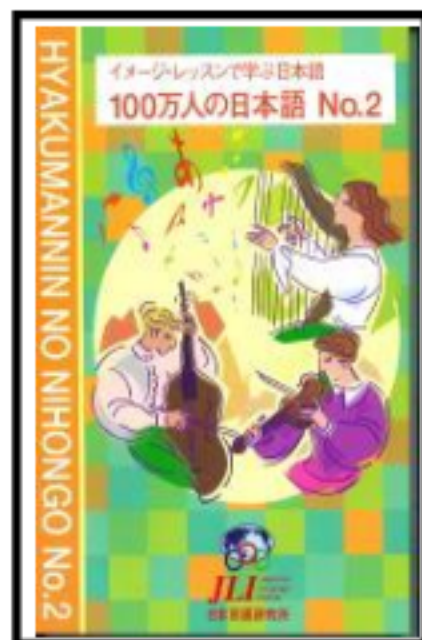
EPA学習支援
スカイプ・教材の買い合わせ等
ことばの研究所
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)
※ 習得漢字数 310 字～620 字
※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)
※ 習得漢字数 420 字～640 字
※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字
※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

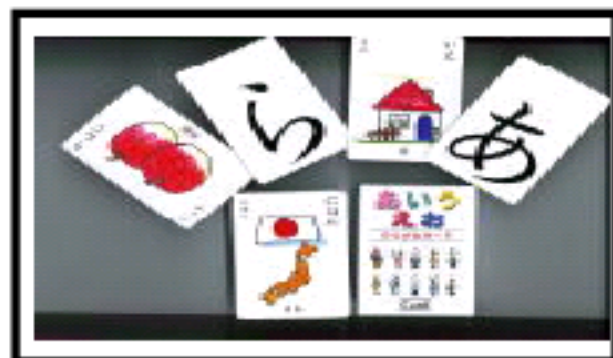
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

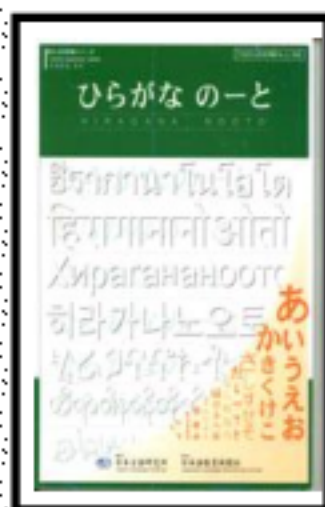
基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

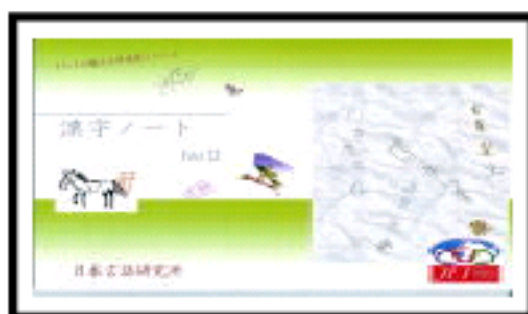
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約能力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)
＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。
日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。
※【自学能力】を養う教材を使用
主教材・「100万人の日本語No.1」
(日本語の規則性と用法育成用)
・「100万人の日本語No.2」
(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)
・ひらがなの一と(構文力育成用)
・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)
・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)
・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。
スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。
※【自学能力】を養う教材を使用
主教材・「100万人の日本語No.3」
(日本語の運用と活用育成用)
副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。
日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。
また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。
※主教材・専門参考書
副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集
【指導内容】
① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】
※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。
※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。
※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 ことばの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	
B段階	70% N2レベル 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
A段階	75 % N3レベル 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		